



特254
205

昭和十年六月一日

絹新製品競技展覽會審查報告

日本中央蠶絲會

始



特254
205

第二一回絹新製品競技展覽會審査報告

第二回日本中央蠶絲會絹新製品競技展覽會出品ノ審査結了ヲ告ゲ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式典ヲ舉ゲラル不肖乏ヲ本會ノ審査長ニ承ケ茲ニ審査ノ成績ヲ薦告シ併セテ褒賞ノ授與ヲ稟請スルヲ得ルハ最モ光榮トスル所ナリ。

抑モ本會ノ目的ハ本邦生絲ノ最大輸出先タル米國ガ近年財界ノ不況ヨリシテ生絲ノ需要減退シ本邦蠶絲業ガ著シク窮境ニ陥レル爲茲ニ絹新製品ノ研究考案製作竝ニ其ノ使用ヲ獎勵シ絹ノ消費増進ヲ圖リ本邦

蠶絲業ノ進歩發達ニ資セントシテ賞ヲカケテ絹新製品ヲ募集シ之ヲ一堂ニ集メ競技以テ技術ノ進歩ヲ計リ一面廣ク之ヲ展覽シテ需要者ノ批判ヲ仰ガントシテ開催セラレタルモノニシテ頗ル機宜ニ適シタル措置ナリト謂フベシ其ノ出品ハ之ヲ三ツニ分類セルガ就中參考品ヲ除キ審査セルハ人員八三、點數六七九ニシテ二府二十五縣ニ涉リ其ノ出品ヲ見タリ今此等出品ニ付概評ヲ試ミンニ

出品ノ種類ニ於テ其ノ點數多カリシハ小幅織物、廣幅織物、男子洋服地、服飾用品ナリシガ就中新製品トシテ實用的價值多ク技術ノ進歩見ルベキモノアリ

シハ洋服地及廣幅織物ナリトス。

男子洋服地ハ漸次技術ノ習熟ヲ見一般ニ相當ノ進歩ヲ示セルガ尙徒ニ羊毛製品ヲ模セントシテ混毛ヲ多カラシメタルモノ或ハ麻製品ヲ模セントシテ全然絹原料使用ノ意義ヲ没却セルモノアリ此等ハ今一段ノ研究ヲ要スベキモノニ屬ス。

廣幅絹織物ハ撚糸ノ應用益々巧妙ニシテ組織、技巧ニ見ルベキモノアリ研鑽怠ルナクンバ海外輸出ノ増進ヲ計リ得ベキト共ニ婦人洋服ノ流行ニ伴ヒ益々用途ヲ開拓シ得ベキモノニ屬ス。

小幅絹織物ハ其ノ出品點數相當多數ニ上リタルモ元

來本品ハ新柄ガ喜バレ新規軸ヲ出ス者ガ勝ヲ制スル
 コトハ前回ノ審査報告ニ於テモ述ベラレタル處新製
 品ト看做スベキ點ヲ見出スニ困ムモノナルガ今回ノ
 出品ニ於テモ亦同ジク殊ニ從來經驗ニ乏シキ地方ノ
 出品ハ柄合舊套ヲ脱セズ、主產地ノ出品ニ於テモ柄
 合稍斬新ナリト云フニ過ギザリシヲ遺憾トス、本品
 ノ如キハ宜シク限リアル内地需要ヲ目標トセズ此等
 技術ヲ應用シテ他ノ方面ニ進出セラレンコトヲ望ム
 編物類中ニハ婦人洋服ニ應用スベキモノ並ニ羊毛ヲ
 混織セルメリヤス肌衣ニ見ルベキモノアリ今後尙研
 究ヲ積ムニ於テハ蠶絲消費ノ一方面タルヲ失ハズ。

以上ノ外洋服裏地、魚網、蚊帳地、トレーシングク
 ロス等既ニ前回ニ出品ヲ見タルモノアリタルカ之等
 ハ細評ヲ省略スベキモ唯徒ニ新規用途ニ吸々タル結
 果一ノ新用途タルニ相違ナキモ果シテ高價ナル原料
 ヲ使用シ實用的價值ヲ疑ハシムルガ如キモノアリ一
 考ヲ要スベキカ。

尙何レノ品種ヲ問ハズ單ニ絹絲ノミヲ原料トセズ人
 造絹絲、羊毛等他ノ纖維ヲ混用以テ製品ノ上ニ特種
 ノ趣味ヲ與フルコトノ研究ヲ積ムコトモ他方併セテ
 絹絲ノ需用ヲ喚起シ得ベク一段ノ研究ヲ望ム。
 以上要スルニ本會モ回ヲ重ヌルコト既ニ二回前會開

會後日猶短キト絹絲ノ應用ガ既ニアラユル方面ニ利用セラレ特ニ新規ノ用途トシテノ應用ガ頗ル困難ナル爲メカ今回ノ出品ガ前回ニ比シ特ニ新規製品ト認ムベキモノ、少カリシハ遺憾ナルモ出品中ニハ前回ニ比シ技術ノ進歩著シク實用品タル域ニ達セルモノ相當アリ今後研究ト努力ヲ怠ラザルニ於テハ自ラ蠶絲需要増進ノ途開カルベク一層ノ奮勵ヲ望ム。

而シテ今回出品物ノ審査ニ就テハ本會開會ノ趣旨ニ副フベク新製品ニシテ將來最モ需要ヲ増進シ得ベキモノニ重キヲ置キ不肖審査員諸氏ト共ニ嚴正ナル審議ヲ遂ゲ其ノ優劣ヲ査定シ其ノ結果優等賞一名、壹等賞二名、貳等賞四名、參等賞十一名、褒賞十六名合計三十四名ヲ撰拔セリ謹デ褒賞ヲ授與アラシコトヲ。

昭和十年六月一日

日本中央蠶絲會第二回絹新製品競技展覽會

審査長 商工技師 正五位勳四等 吉 岡 直 富

終